

令和7年度 立川市立第二小学校 学校経営方針・学校経営計画

令和7年4月1日
校長 松村 利一

立川市立第二小学校の全ての児童が笑顔で輝き、生涯にわたって自ら学び続ける意欲をもてるような教育活動を推進します。また、全教職員がチームとなり、地域の児童を保護者、地域の方と共に育む学校を目指して「全ての児童の笑顔、輝きのために みんながつながる第二小学校」という合い言葉を掲げます。

校長としての願いと思い

他者と力を合わせて社会生活を営んでいく力・態度

気持ちのよいあいさつができ、規範意識や思いやりの心・協調性をもった子ども達にしたい。

自分らしさを大切にしながら、自分の力をさらに伸ばしていこうとする力や態度

学ぶ楽しさを味わわせ、学ぶ意欲・よりよい自分になりたいと願うエネルギーをもたせたい。

二小を全ての子ども達にとって

学校を「安心できる場所」「居心地のよい場所」「自己肯定感を高められる場所」にします！

教育目標 ここに示した児童の姿を実現するために二小の教育活動があります。

・健康で明るい子 ・進んで学習する子 ・心豊かで思いやりのある子

【健康で明るい子の具体像】

- ・すすんであいさつをして、正しい言葉遣いができる子
- ・健全な生活習慣を身に付け、維持することができる子
- ・運動に親しみをもち、楽しむことができる子

【進んで学習する子の具体像】

- ・学ぶ意欲をもち、学びの基礎・基本を身に付け、筋道立てて考え、表現できる子
- ・既習事項や体験等を関連付けて考え、新たな問題を主体的に解決できる子
- ・柔軟な思考力や判断力、豊かな創造力や表現力をもつ子

【心豊かで思いやりのある子の具体像】

- ・他者とともに生きる意味を理解し、社会のために役立つことができる子
- ・柔らかな感性、規範意識、他者を思いやるなどの豊かな人間性をもつ子
- ・他者と協力し合って、困難を乗り越え、粘り強く取り組み、挑戦できる子

教育活動の重点的な取組と具体的な方策

(1) 【健康で明るい子】の育成に関すること

- ①体力や運動能力を向上させ、生涯にわたり運動に親しむ資質や態度を育みます。
 - ・体育科の授業はもとより、外遊び、地域の体育活動など、様々な運動の機会をつくる。
 - ・東京都統一体力テストの結果を生かし、体育科の授業の工夫・改善を図る。
- ②たくましく生きるために必要な心身の健康の保持増進と体力向上に努める態度を育てます。
 - ・家庭との連携・協力を大切にして、食や睡眠などの生活習慣を定着させる。
- ③あらゆる危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動できる態度を育てます。
 - ・各学級における安全指導、毎月行う避難訓練、関係機関と連携して実施するセーフティ教室などを通して、児童が自ら情報をもとに判断し、危険を回避する技能を身に付け、自らの命を自ら守ることができるようにする。

(2) 【進んで学習する子】の育成に関すること

- ①自ら課題を見付け、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく生きようとする資質や能力を育成します。
 - ・学びの目的の明示、授業のねらいとめあての明確化により、見通しをもたせ、問題解決におけ

る「自力解決」や「学び合い」「振り返り」の場面を意図的・計画的に設定した学びの質を高めた授業を行う。

- ②多様な異文化を理解・尊重し、世界中の人々と主体的にコミュニケーションを図り相手意識をもって共生しようとする、グローバルな人材を育成します。
 - ・学級担任による ALT を活用した外国語活動・外国語の授業の実施と、TOKYO GLOBAL GATEWAY など体験型学習への参加を推進する。
- ③学習への関心・意欲を高め、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育成します。
 - ・言語環境の整備、言語活動の充実、ICT 機器や一人一台パソコンの効果的な活用、プログラミング的思考を育むプログラミング教育の実施・充実に努める。
 - ・学校図書館の活用、読書週間の取組や教職員による読み聞かせなど、読書活動や言語活動を充実させる。
- ④基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の向上を図ります。
 - ・全国学力・学習状況調査等の分析結果を生かした授業改善推進プランの PDCA サイクル化により、授業力の向上と授業改善を組織的に行う。
 - ・年間指導計画に沿った週ごとの指導計画を十分に活用し、板書の工夫やノート指導の充実に努め、きめ細やかな指導を推進する。

(3) 【心豊かで思いやりのある子】の育成に関すること

- ①年間を通したあいさつ指導を大切にし、気持ちのよいあいさつの声が響く学校を目指します。
 - ・他者とのよりよい関係づくり、他者とのコミュニケーションの基本として「あいさつ」の大切さを児童に伝えていく。
- ②いじめについて児童が主体的に考え、解決に取り組む力と態度を身に付けさせます。
 - ・「立川市立第二小学校 学校いじめ防止基本方針」をもとに、いじめの防止・いじめの解消に努め、暴力解消月間の取組やいじめ防止授業を積極的に行います。
 - ・「ふれあい月間」等の取組を生かした人権教育推進し、教育活動全体を通して児童と教師の人権意識を高め、人権感覚を磨く。
 - ・言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる指導を徹底する。また、どの学級においても、いじめや仲間はずれのない帰属意識がもてる温かい学級づくりを進め、不登校のない学校生活の実現に努める。
- ③まちに愛着をもち、まちと主体的に関わり、まちに貢献しようとする心、自然への畏敬の念、生命の尊重と感謝の気持ちなど、豊かな心情と道徳的な実践力を養う。
- ④よりよい学校生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度、協調性を培い、豊かな感性や情操を育てます。
 - ・児童の主体性や児童同士の話し合い活動を重視した学級活動や児童会・委員会活動を実践し、児童が互いを尊重し合い、進んで協力したり助け合ったりする態度を育てる。
 - ・児童が自己有用感や達成感を味わえる教育活動を日々実践していく。
- ⑤自分の将来を考え選択していく力、社会の様々な問題に関心をもち自分の生活を見直し社会の一員としてよりよく生きようとする主体的、実践的な態度を養う。
 - ・一人一人の児童を大切にして誰もが活躍できる場や機会があり、長所を伸ばせ、自尊感情や自己肯定感を育てる、学級・学年経営を行う。
 - ・「夢未来ノート」の活用など、個に応じた適切な生き方指導を行う。

(4) 特別な配慮を必要とする児童への指導・特別支援教育の充実に関すること

- ①一人一人の児童に寄り添い、児童の困り感に共感しながら「チーム二小」として支援の手立てを考えていきます。
- ②ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境の整備や授業展開により、全ての児童が「わかる・できる」楽しさを味わえる授業づくりに努めます。

(5) 安心・安全な学校づくりに関すること

安全第一を心がけ、毎月安全点検を実施し、教育環境を整備して校内での事故に努めるとともに、警備の充実や不審者対応訓練の実施など、不審者の侵入の防止に努めます。校長自ら日常的に学校内を見回ります。また、安心・安全な給食を提供するために、保護者との面談やアレルギー対応研修を実施し、事故防止に努めます。